

タイトル…汐製菓会社の新作 ♪

羊羹 ♪

第一幕…奇想天外な発想のスタート

シーン…汐製菓オフィス、朝

(汐がデスクで資料を見ながらブツブツと話している。塩田がコーヒーを持って入室)

汐…「塩田、待ってたぞ！ついに天才的なアイデアが浮かんだ！」

塩田(ため息をつきつつ)…「まさか、また新作ですか？前回の『チョコレートたくあんチップス』もすぐに棚から消えましたよ…。」

汐(自信满满)…「今回はもっと斬新だ。辛党にも喜ばれる新しい羊羹だぞ！『ワサビ&マスタード味』！」

（塩田、驚きでコーヒーを吹き出しそうになる）

塩田：「な、何ですって！？羊羹に…ワサビとマスタード！？それは和菓子じゃなくて…むしろスパイスの罰ゲームみたいなの…」

汐（鼻を高くして）：「甘さに飽きた人には辛さで勝負するんだ！これまでの和菓子の常識を覆すスパイシーな羊羹だぞ。しかも、海外展開も視野に入れている。外国人はワサビが好きだからな！」

塩田（半ば呆れて）：「確かに、外国人にとってワサビは興味深いでしょうけど…でも羊羹は甘いのが基本じゃないんですか？」

汐（楽しそうに）：「そこがポイントなんだよ、塩田。羊羹の甘さを引き立てる代わりに、スパイシーな刺激を与える！まさに革命だ！さあ、試作品を作りに行くぞ！」

(塩田が渋々ついて行く)

第二幕…試作品の作成と社内反応

シーン②…汐製菓キッチン、午後

(汐が羊羹の試作品を作り、塩田が不安そうに見守っている)

汐…「まずは普通の羊羹のベースを作って…そこにたつぷりとワサビを投入！そしてマスタードを混ぜる…うん、これで辛さが爆発するはずだ。」

塩田(顔をしかめる)…「その香り、すごいですね…。本当にこれ、大丈夫なんでしょうか？」

汐(自信たつぷりに)…「これが新しい羊羹だ！辛さの中にほんのりと甘さが残る、今までにない味だ。さあ、塩田、試してみろ！」

(塩田、震えながら一口食べる)

塩田（顔をしかめる）：「あっ…辛い！…でも…意外と、悪くないかも…甘さと辛さが…妙にバランス取れてる…？」

汐（満足そうに）：「そうだろう！これこそ新感覚の和菓子。国内外の辛党にウケること間違いなしだ！」

シーン③：汐製菓会議室、翌日

（汐が社員たちに試作品を披露するため、会議室に登場。社員たちはざわついている）

汐：「皆さん、これが我々の新しい力作、『羊羹♪』だ。ワサビとマスタードの辛さを前面に押し出し、甘さ控えめに作った特別な羊羹だ！」

（社員たちは不安そうな顔をしながら、恐る恐る試食する）

社員：「え…これ、本当に和菓子ですか？辛い…でも不思議と後を引く味がします。」

社員²（顔をしかめつつ）：「うーん…これはなかなか挑戦的ですね。辛いもの好きにはいいかもしれませんが、甘党の私は…。」

社員³：「私、辛いもの大好きなんですけど、これは意外とアリかもしれません。羊羹のしつとり感と辛さが混ざってる…。」

（塩田、内心ほっとしながら）

塩田：「意外と評判悪くない…？でも、これが市場で受け入れられるかどうか…。」

汐（意気揚々と）：「この調子でいけば間違いない！さあ、次はマーケティングの準備だ！」

第三幕：マーケティング戦略と販売開始

シーン⁴：汐製菓マーケティング部、翌週

（汐と塩田がマーケティングチームと打ち合わせ。ポスター案やキャッチコピーを考える）

マーケティング部員：「社長、今回はかなり独特な商品ですけど、どうやって売り出すかが問題ですね。和菓子なのに辛い、というのは強みでもあるけど…」

汐：「『甘さに飽きた君へ！』というキャッチコピーで売り出そう！辛党や、甘いものが苦手な人に訴求する。日本だけじゃなく、海外の観光客にも受けるはずだ！」

塩田（心配そうに）：「確かに、海外の人にとってワサビは興味深いかもしれませんが、反応がどうなるか…」

汐：「挑戦する価値がある。さあ、全国のスーパーと観光地で売り出すぞ！」

（ポスターやCMのアイデアが次々と出て、販売準備が進む）

第四幕：国内外の客たちの反応

シーン5：発売初日、全国のスーパーと観光地

（『羊羹』が店頭に並び、買い物客たちがそのパッケージに興味を持つ）

客A（日本人、辛党）：「これ、羊羹なのに辛いのか？ 甘いものは苦手だけど、これならいけそうだな。」

客B（外国人観光客、英語で）：「What's this? Spicy yokan? I've never seen anything like this. I'll give it a try.」（「これは何？ 辛い羊羹？ こんなの見たことないよ。試してみるか。」）

（試食して驚くが、妙にハマってしまう）

客A（笑顔で）：「これは…新しい！ しっかりとっているのに、辛さがクセになる。羊羹ってこんなに進化できるのか？」

客 B (驚き〇〇) : 「Wow, it's really spicy!

But I like it... it's kind of addictive.」

(「す〜く辛いけど、クセになるかも…。」)

(SNSでも話題となり、次第に「羊羹」が

注目され始める)

第五幕：予想外のヒット

シーンの：汐製菓オフィス、数週間後

(塩田が売上データを手に入室、驚いた顔を
している)

塩田：「社長、信じられませんが：『羊羹』
が爆売れしてます！国内だけでなく、海外の
観光客にも人気です！」

汐(笑いながら)：「だから言っただろう！甘
さだけじゃなく、辛さを求める人が増えてる
んだ。時代は俺たちに追いついたんだよ！」

塩田（困惑しながらも感心して）：「社長の発想には、いつも驚かされますね…。でも、次はどうするんですか？」

汐（考え込んでから）：「次はもっとすごいのを作るぞ！納豆プリンに唐辛子を混ぜたらどうだ？甘さと辛さ、そして発酵の三重奏だ！」

塩田（目を丸くして）：「ええ！？今度こそ、失敗しそうな気が…」

（汐と塩田が笑い合い、幕を閉じる）

終わり